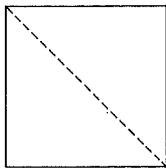


# 桜の花びらと三角関数

とどころ なお や  
外 刃 直 哉

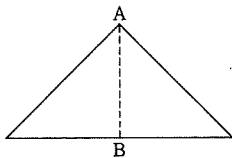
## 1. 折り紙で桜の花びらを作ってみよう.

①



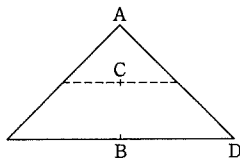
正方形を点線で2つに折って、

②



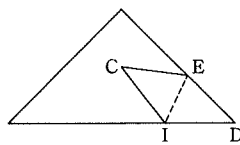
更に2つに折って、戻しておく.

③



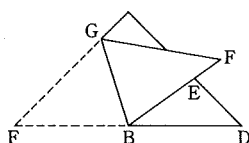
AとBが重なるように折って戻す.

④



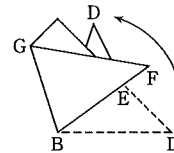
DとCが重なるように折って戻す.

⑤



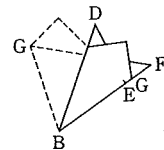
辺BFが点Eに重なるように折る.

⑥



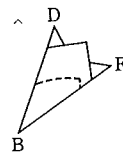
点Dが向こう側に行くように、直線BEで折る.

⑦



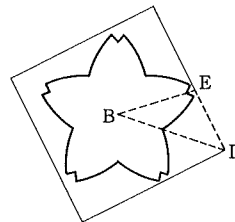
辺BGと辺BEが重なるように折る.

⑧



点線のように切って広げると、

⑨



きれいな桜の花びらが作れる.

これは幼稚園に通っている娘が教わってきたものだが、1つ1つの花びらが円を5等分した形にかなり正確に作れます。これを見て妻が「数学的にどのくらい正確なのか計算して欲しい。」と言ってきて、それで考えたものである。

三角関数の単元とも合わせて考えたら面白いと思います、組み立ててみました。

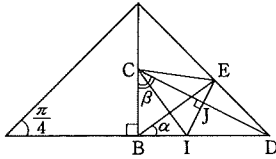
もし花びらが正五角形を形づくるなら

$$\angle DBE = 36^\circ$$

となるはずである。

## 2. 計算してみよう.

まず、図⑤において、 $\angle DBE$  が何度になるのか考えてみる。それは、この角に折り重なるように折ってから、花びらを切るので、この角が基準となっているからである。



$\triangle BCD$  で、 $BC=1$  とすると

$$BD=2, \quad CD=\sqrt{5}, \quad DJ=\frac{\sqrt{5}}{2}$$

$\angle BCD=\beta$  とすると

$$\triangle BCD \sim \triangle JID \quad \text{から} \quad \angle DIJ=\beta$$

$$\text{よって} \quad \angle DEJ=\frac{3}{4}\pi-\beta$$

また、 $\triangle BCD$  で

$$\sin \beta=\frac{2}{\sqrt{5}}, \quad \cos \beta=\frac{1}{\sqrt{5}}$$

ここで

$$\begin{aligned} \sin\left(\frac{3}{4}\pi-\beta\right) &= \sin\frac{3}{4}\pi \cos \beta - \cos\frac{3}{4}\pi \sin \beta \\ &= \frac{3}{\sqrt{10}} \end{aligned}$$

$\triangle DEJ$  において

$$\sin\left(\frac{3}{4}\pi-\beta\right)=\frac{\frac{\sqrt{5}}{2}}{DE}$$

$$\text{ゆえに} \quad DE=\frac{\sqrt{5}}{2} \cdot \frac{\sqrt{10}}{3}=\frac{5\sqrt{2}}{6}$$

$\triangle BDE$  において

$BE=x$  とすると

$$\begin{aligned} x^2 &= 2^2 + \left(\frac{5\sqrt{2}}{6}\right)^2 - 2 \cdot 2 \cdot \frac{5\sqrt{2}}{6} \cos \frac{\pi}{4} \\ &= \frac{37}{18} = \frac{74}{36} \end{aligned}$$

$$x > 0 \quad \text{であるから} \quad x = \frac{\sqrt{74}}{6}$$

$\angle DBE=\alpha$  とすると

$$\frac{\frac{5\sqrt{2}}{6}}{\sin \alpha} = \frac{\frac{\sqrt{74}}{6}}{\sin \frac{\pi}{4}}$$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに} \quad \sin \alpha &= \frac{5\sqrt{2}}{6} \cdot \frac{6}{\sqrt{74}} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} \\ &= \frac{5\sqrt{74}}{74} \end{aligned}$$

$$\approx 0.5812381$$

この式を満たす  $\alpha$  は、普通の電卓では計算できないから、 $\sin 36^\circ$  の値を求めてみよう。

三角関数の単元での利用を考えて、

$\theta=36^\circ$  のとき

$$\sin 3\theta = \sin 2\theta \quad \text{であるから}$$

$$(\text{左辺}) = \sin 3\theta = \sin(\theta+2\theta)$$

$$= \sin \theta(4\cos^2 \theta - 1)$$

$$(\text{右辺}) = \sin 2\theta = 2\sin \theta \cos \theta$$

よって

$$3 - 4\sin^2 \theta = 2\cos \theta$$

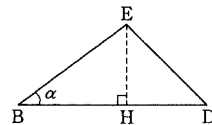
$$4\cos^2 \theta - 2\cos \theta - 1 = 0$$

$$\cos \theta = \frac{1+\sqrt{5}}{4} \quad (\cos \theta > 0)$$

$$\sin 36^\circ = \sqrt{1 - \left(\frac{1+\sqrt{5}}{4}\right)^2}$$

$$= \frac{\sqrt{10-2\sqrt{5}}}{4}$$

$$\approx 0.5877852$$



これは  $BE=100\text{mm}$  のとき  $EH$  の誤差が、 $0.6\text{mm}$  であり、折り紙としたら十分な正確さであることがわかります。

ちなみに、パソコンを用いて、 $\sin \alpha = 0.5812381$  を解くと、 $\alpha = 35.54^\circ$  と出てきて、角の誤差も  $0.46^\circ$  くらい微小です。

(群馬県立 吉井高等学校)